

SUPER GT 2018 series
ROUND 1
FUJI GT 500km race
2018.MAY.3rd/4th
レースレポート



2018年5月7日
Modulo Drago CORSE



シリーズ名: 2018 SUPER GT 第2戦

大会名: FUJI GT 500KM RACE

距離 4.563km × 110 周 (500km)

予選: 5月3日(木) くもり ・ 観衆: 31,300人(主催者発表)

決勝: 5月4日(金) 晴れ ・ 観衆: 55,000人(主催者発表)

NSX GT-3として国内初のポイントを獲得した34号車 Modulo Drago CORSE。

ZFアワードを受賞し、チームの底力を見せる一戦となった。

連休のゴールデンウィーク真っ最中、SUPER GTは早くも第2戦を富士スピードウェイで迎えました。関東圏からもアクセスしやすく、毎年大型連休中に開催される第2戦はシーズン中1、2番の観客動員数の一戦となり、今年も8万5000人を超える来場者数となりました。富士スピードウェイで行われたSGT公式テストから約2か月、テスト時と比べると路温など上昇を見せるも、初夏にしては涼しい御殿場らしい気候のもと、レースウィークがスタートしました。34号車Modulo Drago CORSEは開幕戦でアクシデントに見舞われましたが、マシンの修復を完了し、後日行われた鈴鹿テストでも順調に走行する事ができました。

3月に行われた富士スピードウェイの公式テストでは手応えを感じる結果で終え、第2戦での活躍への期待が一層高まる中、チームは開幕戦の挽回をするべく入念なる準備のもとレースウィークを迎えました。

公式練習

5月3日(木) 12:50~13:20 天気: くもり コース:ドライ

気温: -℃ 路面温度: -℃ (開始時)

5月の嵐の影響により、強風と雨に見舞われた朝となった予選日の朝。サーキットでの走行時間が近づくにつれ天気は回復しましたが、サーキットはたちまち濃霧が立ち込めてしまいました。その影響で視界不良により、早朝に予定されていた公式練習やサポートレースなどが中止となり、午後の予選形式を変更し30分の公式練習が直前に行われました。34号車Modulo Drago CORSEは、まず大津弘樹選手が走行を担当しピットアウト。レースウィーク中初の走行を順調にこなし、道上選手が後半を担当し最後の調整へと作業を進めました。GT300の上位を占めたのは、34号車のNSX-GT3もその一台であるFIA-GT3勢でした。GT3マシンとの相性が良好に思えた富士スピードウェイでの練習走行にて、34号車は8番手のタイムで走行を終え、持ち込んだセッティングに手応えを感じて予選を迎える事となりました。

ベストタイム: 道上龍 選手 1'38.340 クラスポジション 8番手

Pos	No.	Driver	Car	Tire	Wh	Time	Behind
8	34	道上 龍	Modulo KENWOOD NSX GT3	YH	0	1'38.340	0.529
		大津 弘樹	Honda NSX GT3				
1	55	高木 真一	ARTA BMW M6 GT3	BS	10	1'37.811	NA
		S.ウォーキンショー	MBMW M6 GT3				
2	0	谷口 信輝	GOODSMILE Hatsunemiku AMG	YH	6	1'37.884	0.073
		片岡 龍也	Mercedes AMG GT3				
3	7	藤井 誠暢	D'station Porche	BS	30	1'37.992	0.181
		スヴェン・ミュラー	PORSCHE 911 GT3 R				



計時予選 (GT300)

5月3日 (木) 14:45~15:05

天気：くもり コース:ドライ 気温：21℃ 路面温度：34℃

スケジュールの変更に伴い、通常ノックダウン方式で行われる予選が計時予選に変更となりました。GT300,500共に予選は20分間になり、その一回の予選結果にて決勝グリッドが決定されます。朝の天候が回復し日も差し始めた富士スピードウェイでしたが、風は強く時に雨を予感させる雲も見られる中GT300の予選が開始されました。

34号車Modulo Drago CORSEは、アタッカーを道上龍選手が担当し予選を走行する事となりました。全車が順調に走行を進める中、NSX GT3の1台である777号車がまず38秒台を叩き出しトップタイムを更新しました。走行時間約半分が過ぎた頃、周回5周目に道上選手が1'37.396のタイムを出し7番手タイムを叩き出しました。その後更にタイムアップを目指しましたが、シフトダウン時のアクセルレスポンスのトラブル症状により以降アタックが難しくなり、12番手にて予選を終える事となりました。GT300の約半分である上位14チームが1秒以内の予選タイムとなり、レベルの高い一戦となる事を予感させる予選となりました。

ベストタイム： 道上龍 選手 1'37"396 (計測ラップ 5周目/11周)

決勝グリッド： 11番手 (予選後繰り上げにより、12番手より繰り上げ)

Pos	No.	Driver	Car	Tire	Wh	Time	Behind
12	34	道上龍	Modulo KENWOOD NSX GT3 Honda NSX GT3	YH	0	1'37.396	0.823
1	55	高木真一	ARTA BMW M6 GT3 BMW M6 GT3	BS	10	1'36.573	NA
2	61	井口卓人	SUBARU BRZ R&D SPORT SUBARU BRZ GT300	DL	0	1'36.656	0.083
3	65	蒲生尚弥	LEON CVSTOS AMG Mercedes AMG GT3	BS	16	1'36.780	0.207

予選【公式総合結果】

GridPos	No.	Driver	Car	Tire	Wh	Time (Q1/Q2)	
1	55	高木真一	ARTA BMW M6 GT3	BS	10	1'36.573	NA
		S.ウォーキンショー	BMW M6 GT3				
2	61	井口卓人	SUBARU BRZ R&D SPORT	DL	0	1'36.656	0.083
		山内英輝	SUBARU BRZ GT300				
3	65	黒澤治樹	LEON CVSTOS AMG	BS	16	1'36.780	0.207
		蒲生尚弥	Mercedes AMG GT3				
11	34	道上龍	Modulo KENWOOD NSX GT3	YH	0	1'37.396	0.823
		大津弘樹	Honda NSX GT3				



決勝前走行（スタート進行前走行）

5月4日（金） 13:05 ~ 13:25

天候: 晴れ コース: ドライ

決勝日は朝から前日のようにスケジュールに変更はなく、予定通り決勝前のスタート前走行が開始されました。最初に走行を務めたのは、予選も担当した道上龍選手。ピット作業の確認や決勝シミュレーションを行いながら、順調に走行しました。39秒台で走行したのち、大津選手にドライバーチェンジ。走行時間残り6分を切ると、全車が決勝前に向けて最後の走行をシタイムが次々と更新されるました。残り5分半に差し掛かった時、34号車Modulo Drago CORSE 大津選手が1'38.632のタイムを叩き出し、クラス4番手に浮上しました。以降安定した好タイムで走行を続け、20分間の走行を4番手で終える事となりました。

ベストタイム： 大津弘樹選手 1'38"632
クラスポジション：4番手

決勝（110周・500km）

5月4日（金） 14:40 ~

天候: コース: 気温：18℃/19℃ 路面温度：36℃/25℃（開始時/終了時）

風が時折強く吹きましたが、終日晴天に恵まれた決勝日。スタートグリッドに全車が並ぶと、訪れた観客でコース上は賑わいを見せました。500kmのロングレースは2度のピットインが義務づけられている為最低3スティントのレースとなり、34号車Modulo Drago CORSEは1stスティント・3rdスティントを大津弘樹選手、2ndスティントを道上龍選手が担当し500kmを戦う事になりました。

パレードランとフォーメーションラップの2周を終え、いよいよ全車がコントロールラインを通過しレースがスタート。スタート直後のトラフィックでポジションダウンをしてしまいましたが、同周回で前方で起こった他チームのアクシデントを回避し9番手に浮上する事に成功しました。その後周回4周目にて大津選手がこのレースでのベストタイムとなる1'38.672を叩き出し走行し、6周目には7番手までポジションアップしました。2号車・65号車との3秒以内の僅差でのバトルを繰り広げ、途中オーバーシュートしてしまうシーンもありましたが2号車をオーバーテイクする事に成功しました。その後、一時的に無線に不具合が出てしまうトラブルに見舞われながらも、大津選手は順調に前方マシンとの差を縮めながら走行をし35周目終わりに最初のピットインをし道上選手へと交代しました。

1回目のピットインでは4輪ミディアムハードタイヤへ交換。ピット作業時に右リアタイヤ交換に時間を要してしまいましたが、無事にピットアウトし19番手でコース復帰し走行を開始しました。その後道上選手は順調にオーバーテイクを繰り返し12番手まで浮上しました。34号車は2輪交換作戦を立てていた為、フロントタイヤを労わりつつ走行した道上選手。燃費が厳しいNSX GT3でしたが、道上選手は絶妙な燃費走行にてポジションアップしながら75周まで走行しました。

2度目のピットインでリアタイヤ2輪のみをミディアムタイヤへ交換し、ドライバーは大津選手に交代しピットアウト。11番手にてコース復帰した後、前方車両との差をあっという間に詰めオーバーテイクし9番手に浮上しました。その後も大津選手の攻めの走りにより8番手の88号車をオーバーテイクし、更には60号車との接戦の7番手争いを繰り広げました。

ファイナルラップとなった周回101周目、安定したタイムで走行をした34号車は8番手にてチェッカーを受けました。



道上選手の経験と熟練された感覚あつてのテクニック、そして大津選手の勢いある走りが成した数々のオーバーテイクにより、2輪交換作戦をチーム一丸となり成功させた34号車Modulo Drago CORSE。SUPER GT第2戦では8位入賞となり、NSX GT3として国内レースにて初ポイントを獲得する事ができました。更にはその華麗なるチームワークに、今大会のベストメカニック賞である「ZFアワード」を受賞しました。

次戦は2週間後の5月19日・20日に鈴鹿サーキットにて開催されます。

短い準備期間となりますが第2戦での経験と勢いを活かし更に良い結果に繋がられるよう、チーム一丸となり第3戦も戦って参ります。

決勝： 8位 (3ポイント)

ベストラップ： 大津弘樹 選手 1'38.672 (4周目)

【決勝結果】

Pos	No.	Driver	Car	Tire	Wh	Lap	Total Time/Behind
1	55	高木真一	ARTA BMW M6 GT3	BS	10	102	2:52'07.982
		S.ウォーキンショー	BMW M6 GT3				
2	31	嵯峨宏紀	TOYOTA PRIUS apr GT	BS	0	102	25.292
		平手晃平	TOYOTA PRIUS				
3	11	平中克幸	GAINER TANAX GT-R	DL	12	102	34.47
		安田裕信	NISSAN GT-R NISMO GT3				
8	34	道上 龍	Modulo KENWOOD NSX GT3	YH	0	101	1LAP
		大津 弘樹	Honda NSX GT3				

【Driver's Ranking】

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	55	高木 真一 ショーン・ウォーキンショー	5	21							26	-	52
2	18	中山 友貴 小林 崇志	20								20	-6	40
3	7	藤井 誠暢 スヴェン・ミュラー	15	5							20	-6	40
4	11	平中 克幸 安田 裕信	6	11							17	-9	34
5	65	黒澤 治樹 蒲生 尚弥	8	8							16	-10	32
6	31	嵯峨 宏紀 平手 晃平		15							15	-11	30
7	25	松井 孝允 坪井 翔	11								11	-15	22
8	0	谷口 信輝 片岡 龍也	3	6							9	-17	18
9	88	平峰 一貴 マルコ・マッペリ	5	2							7	-19	14
10	60	吉本 大樹 宮田 莉朋		4							4	-22	8
11	34	道上 龍 大津 弘樹		3							3	-23	6
12	26	山田 真之亮 川端 伸太郎	2								2	-24	4
13	50	加納 政樹 安岡 秀徒	1								1	-25	2
14	21	リチャード・ライアン 富田 竜一郎		1							1	-25	2





道上 龍選手

2輪交換作戦を考えていたので、タイヤの状況など見て判断する2ndステントを、大津選手より経験のある自分が担当する事にしました。担当したステントはミディアムハードタイヤだったのですが、NSXの特性上フロントタイヤの暖まりに時間を要し内圧がなかなか上がらない場面もありました。給油時間を最小限に抑える為燃費走行しながら、最後のステントにリアタイヤのみ交換で繋ぐ事が出来ました。しかし、予選日から抱えていたシフトダウン時のアクセルレスポンスのトラブルは思ったより改善されていなかったもので、次戦までに原因を見つけ改善したいです。マシンのメカニカルな問題だけではなく自分のドライビングスタイルにも改善出来る事はあると思うので、引き続き次戦に向けて良いレースが出来るように準備をしていきたいと思いをします。



大津 弘樹選手

今大会は3ステント中の最初と最後の2ステントを担当しました。決勝前のフリー走行から決勝を見据えた燃料を積んだり、タイヤの磨耗状況などを確認しながら走行していたので、決勝中も安定したタイムとタイヤマネージメントで走行出来たと思います。最初の担当ステントで、他チームとのバトルでコースアウトをしてしまう自分のミスもあったのですが、このミスから学べるバトルの仕方などプラスになる部分もありました。途中無線がピット側へ聞こえない時間があり、燃費数値を伝える手段がなくヒヤヒヤもしたのですがピット側とのチームプレイで解決する事が出来ました。NSX GT3として初の国内レースでのポイントも獲得出来たので、次戦は更に上の結果を目指してがんばります。



チョン・ヨンフン監督

第2戦の前に行われた鈴鹿サーキットでの公式テストでは、あまり思ったようなマシンの調子ではなかったのですが、そのデータを元に富士戦に向けてセットアップも見直しをしました。その結果、このレースウィークに持ち込んだセットアップがマッチし良いレースに出来たと思います。フロントが温まりにくいNSXの特性を活かして、セカンドステントをハードタイヤにし最後のステントで後輪2輪のみを変えて前後のタイヤのバランスを取る作戦を立てていました。その作戦が上手くマッチして今大会を戦う事が出来ました。

鈴鹿戦はテスト時と路温の状況も変わってくると思うので同じ様にとはいかないかもしれませんが改善出来る点は沢山あるので、レースで良い結果につながられると思います。



【テレビ放映情報】

〔CS波〕



05月05日 (土) 午前09:25 - 午後01:55	同日 SUPER GT 2018 第2戦 富士スピードウェイ 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4	05月23日 (水) 深夜 03:15 - 深夜 03:30	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 1
05月05日 (土) 午後07:00 - 午後07:23	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第1戦 岡山国際サーキット オンデマンド 休	J SPORTS 2	05月24日 (木) 午後05:30 - 午後05:45	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド 休	J SPORTS 2
05月07日 (月) 午前05:30 - 午前10:00	SUPER GT 2018 第2戦 富士スピードウェイ 決勝 オンデマンド 休	J SPORTS 4	05月24日 (木) 午後07:15 - 午後07:30	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 3
05月10日 (木) 午後06:30 - 午後11:00	SUPER GT 2018 第2戦 富士スピードウェイ 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4	05月24日 (木) 午後07:30 - 午後09:00	SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 予選 オンデマンド	J SPORTS 4
05月11日 (金) 午前10:00 - 午前11:30	SUPER GT 2018 第2戦 富士スピードウェイ 予選 オンデマンド 休	J SPORTS 4	05月24日 (木) 午後09:00 - 深夜 00:00	SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4
05月11日 (金) 午前11:30 - 午後04:00	SUPER GT 2018 第2戦 富士スピードウェイ 決勝 オンデマンド 休	J SPORTS 4	05月26日 (土) 午前06:00 - 午前06:15	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド 休	J SPORTS 1
05月15日 (火) 午後07:00 - 午後10:30	初回 SUPER GT 2018 【オンボードカメラ+】 第2戦 富士スピードウェイ 決勝 オンデマンド	J SPORTS 3	05月27日 (日) 深夜 01:30 - 深夜 01:55	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド 休	J SPORTS 3
05月17日 (木) 午後10:30 - 午後10:45	初回 SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 3	05月29日 (火) 午後02:00 - 午後03:30	SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 予選 オンデマンド 休	J SPORTS 4
05月18日 (金) 午後05:30 - 午後05:55	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 2	05月29日 (火) 午後03:30 - 午後06:30	SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4
05月18日 (金) 午後09:15 - 午後09:30	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド 休	J SPORTS 4	05月31日 (木) 午後03:30 - 午後03:45	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 1
05月19日 (土) 午前08:00 - 午前11:30	SUPER GT 2018 【オンボードカメラ+】 第2戦 富士スピードウェイ 決勝 オンデマンド	J SPORTS 3			
05月19日 (土) 午後01:00 - 午後01:15	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 1			
05月19日 (土) 午後06:30 - 午後08:00	初回 SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 予選 オンデマンド	J SPORTS 3			
05月20日 (日) 午後00:00 - 午後01:30	同日 SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 予選 オンデマンド	J SPORTS 4			
05月20日 (日) 午後01:30 - 午後06:00	生 SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4			
05月20日 (日) 午後11:00 - 深夜 03:30	同日 SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4			
05月21日 (月) 午後02:00 - 午後03:30	SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 予選 オンデマンド	J SPORTS 4			
05月21日 (月) 午後03:30 - 午後06:30	SUPER GT 2018 第3戦 鈴鹿サーキット 決勝 オンデマンド	J SPORTS 4			
05月21日 (月) 午後06:30 - 午後06:45	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第2戦 富士スピードウェイ オンデマンド	J SPORTS 2			



【地上波】

★SUPER GT+

テレビ東京系列 毎週日曜日 午後11時30分から
放映局：テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、
テレビ北海道、テレビせとうち、TVQ九州